

低血糖の 症状について

Q 糖尿病で治療中です。
低血糖について教えてください。

A

私たちの脳は、主に血液中のブドウ糖(血糖)をエネルギー源としているため、血糖濃度はおよそ70mg/dl以上に維持されています。一般に血糖値が70mg/dl以下(低血糖)になると、体は血糖を上げようとして交感神経が興奮し、発汗、動悸(どうき)、手の震えなどの症状が出現します。さらに血糖値が下がると脳の働きが低下し、集中力や視力の低下、あくびなどの中枢神経症状が出てきます。それを過ぎると意識障害など来し、生命に影響を及ぼす



こともあります。また、高齢者などでは、いきなり意識障害になる無自覚性低血糖という状態もあります。高血糖が持続するのが糖尿病ですが、治療薬のうちインスリン注射や一

部の内服薬は血糖を正常以下に下げることがあり、低血糖を来すこともあります。使用されている患者さんは、常時、低血糖時の対応(主にブドウ糖内服)ができるようにし、低血糖を避ける生活を心がける必要があります。



高知高須病院
糖尿病内科部長
末廣 正さん

高知市大津乙2705-1 TEL088-878-3377 <糖尿病内科>